



廿日市市立佐伯中学校 令和6年度

【自律】学校だより

ホームページ [http:// www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/](http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/)

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

11月号 (No.20)

令和6年

11月8日 (金)

親善マッチ (野球)

10月31日(木)の放課後に、広島県立佐伯高等学校女子野球部の選手が本校にやって来てくれ、3年生男子と対戦しました。これまでも佐伯高校とは体験授業や説明会、SAEKI QUESTなどで交流がありましたが、高校から「佐伯中生徒に佐伯高校への親しみをさらにもってほしい」という言葉をいただきこの親善マッチが実現しました。皆さんの佐伯高校に対する親近感が増したなら企画成功です。

高校生にとっては、普段使っている硬式ボールではなく軟式ボールを使うという大きなハンディがあり、とても扱いにくかったと思います。さらに佐伯中側には生徒だけでなく保護者の方も応援に駆けつけ、大きな声援を送っていたので、高校生にとってはアウェイ状態でした。

試合が始まると、高校生は普段練習しているようなキビキビとしたプレーでした。中学生は、急造チームとは思えないくらい、声を掛け合ってとてもいい雰囲気でした。



【親善マッチ】(佐伯中グラウンド) 15:30-17:00

TEAM	1	2	3	4	5	6	7	計
佐伯高校	0	0	0	0	0	0	1	1
佐伯中学校	0	0	0	0	0	3	×	3

勝利投手:橋本I勝、セーブ:小平IS 本塁打:小平I号 盗塁:橋本I

先発中村投手の好投のおかげで、スコアレスで試合が進みました。お互いに得点できそうでできないまま、終盤を迎え、日没も近づき、そろそろ終わりかな?と思っていたら、佐伯中にチャンスがきました。大声援の中、得点し、最後は逃げ切って勝利しました。とても楽しい時間を過ごすことができました。選手の皆さん、応援していた皆さん、そして保護者の皆様ありがとうございました。





試合後、両校の生徒が一緒になっての記念写真を撮りました。みんな笑顔いっぱいでした。佐伯高校の女子野球部の皆さん、大会前という大切な時期に来てくれてありがとうございました。

観戦していた2年生が「自分たちもやりたい。」と言っていました。また、親善マッチができるといいですね。



表彰（標語、アーチェリー）

第36回青少年育成廿日市市民会議「標語」部門に応募した 7,889 点の中から、佐伯中学校の3名が入選しました。

「つらいこと 話せば少しは 楽になる」原 梓沙さん、
「思いやり 心と心が つながるよ」井ノ上 紗菜さん
「優しさで どんどん広がる 地域の輪」小平 煌翔さん
です。おめでとうございます。

また、第19回西日本小中学生アーチェリー大会で大河駿仁さんが優勝しました。大河さんは昨年に引き続いて優勝し、佐伯中としても3年連続優勝となりました。おめでとうございます。（右がトロフィーです。）見えにくいですが、第5回、第6回大会では佐伯中の河田悠希さんが優勝しています。

